

2009 年度 日本学生オリエンテーリング連盟第 2 回幹事会 議事録

時間:2009 年 9 月 5 日

場所:アークホテル東京(東京都豊島区)

1. 自己紹介

省略

2. 本年度新歓状況(普及部)

新歓アンケート結果については後日MLにて公表予定

新人の如何に定着させるか考えていくため、追跡調査を行う予定

3. 賛助会員(普及部)

25 名前後(大半が東大大会での申し込み)

4. 活動報告書作成経過報告

西名(茨城大 3 年)に依頼

5. 08 年度会計報告(会計)

Web 資料を参照のこと

浮いた 300 万円について、2003 年度の会計の方と連絡を取りたい。

来年度以降の加盟費値上げについて要検討

次回総会の際に、加盟員に対して提出

6. JOA との提携について

JOA の法人格変更に伴い、JOA と日本学連の関係を改めて見直す

現時点で、生産的な議論に至っていない

提携によるメリット・デメリットがはっきりと見えてこない

7. 東海学連規約改正

改正案は web 資料を参照のこと

4 章 23 条 会長、副会長の撤廃

旧 4 章 24 条、25 条の削除に伴う以下の条文の繰上げ

一部条文の引用を変更

来年度 4 月 1 日に改正予定

一度地区学連に持ち帰り、再度検討の後、総会に提出予定

8. 理事会報告

2009 年度ロングおよび、ミドル・リレーの実行委員長の承認を行った

9. TCG(テレインコントロールワーキンググループ)報告

09 年度ロング:前高原(栃木県)

09 年度ミドル・リレー:行川(栃木県)

10 年度ロング:長者屋敷越(奈良県)

10. 技術委員会報告

学連合宿は4回実施予定。随時MLで連絡。

(第1回終了、第2回10月、第3回12月、第4回2月を予定)

CC7前日に計セン講習会を実施

11. 諮問委員会報告

特になし

12. 各部局報告

Web 資料を参照のこと

加盟員が大幅に(60名程度)減少の見込み

13. 地区学連活動報告

Web 資料を参照のこと

14. 後援申請(第31回早大OC大会、第15回京都大学・京都女子大学オリエンテーリング大会)

第31回早大OC大会 11名/11名で承認

第15回京都大学・京都女子大学オリエンテーリング大会 11名/11名で承認

第26回ウエスタンカップリレー 11名/11名で承認

15. インカレ競技規則改正について

運営者人数の不足に関して、運営者と学生の間認識の差がある

→人数というより、パートリーダー格の人間が集まりにくい

→予算の関係上、下手に多くの人数を集められない

→関東以外での開催だと、非常に集まりが悪い

→参加者が800人程度まで回復すると少しは安定する

ミドルの予選/決勝方式にこだわる人は減りつつある

→一本化は止むを得ないのではないのか?

選手権クラスをA, Bに分けるのはどうか?

→なんとかして、中堅層のモチベーションを上げたい

A, Bでコースを同一にするか、それとも別なコースとするか
→明文化はしない

ミドルの選手権クラス参加人数について

案 MEA:50 MEB:60+学校枠 WEA:20 WEB:30+学校枠 程度(約4人に1人)
→技術委員会が各地区の枠配分数については検討する

インカレスプリントに関する規則改正案について

- 規則として明記することは、現状では難しい。
- 来年度以降の開催のため、ガイドラインという形をとりたい
- 学生主体の大会とするためには、単独開催の形をとる必要があるが、現実的な問題としては厳しい
- ガイドラインの作成は技術委員会へ委任

16. 秋インカレ、インカレスプリント進捗状況

・春インカレ

参加人数次第では、参加費の値上げを検討する必要がある。

運営者から学生に対するお願い

- ①併設大会の参加者を募って欲しい
→要綱が固まり次第
- ②学生内で「インカレに学生を集めるための努力」をして欲しい
→事務局主体で始動

要綱1は発行済み。要綱2は4ヶ月前に発行予定。

・スプリント

幹事会に学生の部の表彰式を依頼(会場は全日本リレー開会式会場)

17. その他

来年度幹事について

18. 次回幹事会について

インカレロング後予定

詳しくはMLで周知